

展覧会紹介

郵政博物館が主催した展覧会

【企画展】郵便創業150年記念企画展「日本郵便の誕生」

期間：2021年4月20日（火）～6月6日（日）

※新型コロナウイルス感染症予防のため、4月25日（日）～5月31日（月）まで臨時休館し、会期を7月18日（日）まで延長。

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：2021（令和3）年は、日本に郵便が創業してから150年目にあたる。今や国民にとってなじみの深い「郵便」だが、どのような経緯で誕生し、その実態はどのようなものだったのかについては、意外に知られていない。そこで本企画展では幕末から明治前期までの時期の郵便創業に関連する資料を中心に展示し、日本に「近代郵便」（全国展開と均一料金制の実施、外国郵便の開始、郵便条例制定）が確立するまでをストーリー仕立てで紹介した。



【多目的スペースイベント】「チャックまの世界展」

期間：2021年7月17日（土）～9月12日（日）

会場：郵政博物館（多目的スペース）

概要：今年、活動10周年を迎えたキャラクター“チャックま”の全てが郵政博物館に大集合とし、“チャックま”たちが住む森の中に入ったような楽しい展示に加え、新キャラクターや“チャックま”たちのふるさと「チャック界」にも行けるかもしれないという気持ちにさせた企画であった。“チャックま”を知ってる人も、まだ知らない人も、誰でも楽しめるイベントだった。



【夏休みイベント】ねんど岡田ひとみの#ねんどでミニチュア世界旅行—新しい絆の旅へ—

期間：2021年7月31日（土）～9月12日（日）

休館日9月6日

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：ねんど岡田ひとみがこれまでねんど教室を開催した世界25都市の子どもたちとの触れ合いや、SNSに投稿してもらったフォロワーの皆さんの意見から生まれた47都道府県の郷土料理、世界各地の方に伺ったその地域の食べ物の新作ミニチュアが並んだ。日本や世界、宇宙まで!?旅したワクワク感を味わっ



ていただけるような作品展。来場者にはねんど（オー！ねんどとマカロンレシピ）を配布した。

【企画展】スポーツ切手展 & from 1896 to 2016

期間：2021年9月23日（木・祝）～11月28日（日）

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：郵政博物館において圧倒的な展示数を誇るの切手である。その数、約33万種。これらの切手は収納式の引き出し式のケースに展示しているが、すべてを見ることは難しく、また、どこから見たらいいのか分からない人も多いことだろう。そこで、今回はオリンピックに関する世界と日本の切手を中心にスポーツの切手を紹介した。



【企画展】年賀状展—運気をトラえる！—

期間：2021年12月4日（土）～2022年1月16日（日）

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：五黄の寅は九星術の五黄土星と干支を組み合わせたもので、一般的に運気が強いとされる。今回の展示では、五黄の寅にあやかり、運気をとらえることができるよう寅年の年賀切手の意匠となる郷土玩具や絵はがきのほか、日本漫画家協会所属の漫画家による描きおろし寅年の年賀状、日本絵手紙協会による「みんなの絵手紙年賀状展2022」の展示をした。



【企画展】「モダン・トウキョウの街と空

～絵葉書で旅する東京。ロストからネオの時代へ～」

期間：2022年1月22日（土）～3月21日（月・祝）

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：震災、戦争を経て変貌を遂げた東京は、150年余の間で何が生まれ、何が消えたのか…。本展では、関東大震災後を「モダン」、戦中・戦後期を「ロスト・モダン」、高度経済成長期を「ネオ・モダン」と考え、これら3つの東京について、絵葉書研究家・生田誠氏のコレクションと当館資料を軸に、絵葉書等に遺された東京の姿を俯瞰する展覧会を企画。施策としてYouTubeでの解説などを実施した。



郵政博物館が協力した展覧会

【共催】STAMPEX JAPAN 2021（スタンペックスジャパン2021）

期間：2021年4月10日（土）～4月13日（火）

主催：特定非営利活動法人郵趣振興協会、公益財団法人
通信文化協会

会場：郵政博物館（企画展示場・多目的スペース）

概要：国際切手展準拠の切手コレクションを競う国内審査切手展。郵政博物館と特定非営利活動法人郵趣振興協会との共同開催。部門を「伝統郵趣」「郵便史」「ステーションナリー」に限定、17作品98フレームを展示した。



【共催】「第71回 全日本切手展2021」

期間：2021年6月25日（金）～27日（日）

主催：全日本切手展実行委員会、公益財団法人通信文化協会

会場：すみだ産業会館、郵政博物館

概要：全国の切手収集家がコレクションのテーマと完成度を競うコンクールで、1951年から原則毎年開催され、今回71回目を迎えた。（2020年はコロナ感染拡大により中止）我が国の郵便創業150周年という節目の年を記念して、当館では「郵便切手沿革志」等資料を展示した。

【共催】「日本国際切手展2021」コートオブオナー 皇室展示

期間：2021年8月25日（水）～2021年8月30日（月）

主催：日本郵便株式会社、公益財団法人日本郵趣協会、一般社団法人全日本郵趣連合、公益財団法人通信文化協会

会場：パシフィコ横浜

概要：明治天皇大婚25年祝典記念切手 2銭50面シート、「郵便切手類沿革志 正編」、皇太子殿下御成婚記念切手 原画「窠に鴛鴦」等（一般資料等51点、うち固定資産17点）を貸出。

【共催】「日本国際切手展2021」郵政150年ブース

期間：2021年8月25日（水）～2021年8月30日（月）

主催：日本郵便株式会社、公益財団法人日本郵趣協会、一般社団法人全日本郵趣連合、公益財団法人通信文化協会

会場：パシフィコ横浜

概要：竜文切手 48文シート、駅鈴（隠岐玉若酢命神社の模造）、記念切手「郵便創始50年記念」3銭、「郵便現業絵巻」等（一般資料等309点、うち固定資産23点）を貸出。

【協力】第56回全国切手展JAPEX2021「郵便創業150年 手彫り切手とその時代」展

期間：2021年11月5日（金）～11月7日（日）

主催：公益財団法人日本郵趣協会

協力：一般社団法人全日本郵趣連合、公益財団法人通信文化協会
会場：東京都立産業貿易センター台東館6・7階
概要：「郵便切手類沿革志 正編」「二つ折紅粹葉書」原版等（一般資料22点、うち固定資産6点）を貸出。

【共催】STAMPEX JAPAN 2022（スタンペックスジャパン2022）

期間：2022年3月26日（土）～3月28日（月）
主催：特定非営利活動法人郵趣振興協会、公益財団法人通信文化協会
会場：郵政博物館（企画展示場）
概要：国際切手展準拠の切手コレクションを競う国内審査切手展。郵政博物館と特定非営利活動法人郵趣振興協会との共同開催。部門を「伝統郵趣」「郵便史」「ステーションナリー」に限定、14作品88フレームを展示した。



郵政博物館収蔵資料が展示された展覧会

電気通信大学UECコミュニケーションミュージアム 常設展
期間：2021年4月1日（木）～2022年3月31日（木）
会場：電気通信大学UECコミュニケーションミュージアム
概要：「火花式送信機コイル切替盤」「コヒーラ／デコヒーラ検波器」「シーメンスモルルス受信機」を貸出。

KDDI MUSEUM 展示室
期間：2021年4月1日（木）～2022年3月31日（木）
会場：KDDI MUSEUM
概要：「エンボッシング モルルス電信機〈ペリー将来〉」（レプリカ）を貸出。

東京都美術館
「上野アーティストプロジェクト2021 Everyday Life:わたしは生まれなおしている」
期間：2021年11月17日（水）～2022年1月6日（木）
会場：東京都美術館ギャラリーA・C
概要：省機関紙『郵政』表紙原画2点（桂ユキ「歩道」1962年、同「ゴンベとカラス」1983年）を貸出。

佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館
「田中久重と三重津海軍所～汽砲電機幾般ヲエス～」
期間：2022年2月11日（金・祝）～3月21日（月・祝）
会場：佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館
概要：田中久重製作の「報時器」、「電話機」等（一般資料4点）を貸出。